

宇陀市次世代育成支援後期行動計画

～平成23年度進捗状況報告～



「子どもが地域に見守られ

安心して未来に羽ばたけるまち 宇陀」

平成24年8月

宇陀市健康福祉部 子ども支援課

平成23年度進捗状況報告

～宇陀市次世代育成支援後期行動計画～

● 行動計画と進捗状況の確認・評価

「宇陀市次世代育成支援後期行動計画」は、次代を担う子どもと子育て家庭の支援を総合的・計画的に推進することを目的に策定されました。

平成22年3月に策定されたこの計画は「次世代育成支援対策推進法」第8条に基づく行動計画であり、この計画を実効性のあるものとして進めるためには、その進捗状況をしっかりと管理(確認・評価)する必要があります。

● 進捗状況の公表

計画の実施にあつては、行政のみならず家庭や地域、保育所、幼稚園、学校、企業等が一体となり、次世代育成支援対策に関する取り組みを推進することが不可欠であるため、計画に基づく措置の進捗状況等に係る情報を、毎年公表していきます。

① 平成23年度主要事業進捗状況報告

進捗状況	事業件数	割合	該 当 事 業
継 続	81 件	98.8 %	
着 手	1 件	1.2 %	ジュニアリーダー育成
	82 件	100.0 %	

②平成23年度特定事業の進捗状況報告

		平成23年度 実績	平成26年度 目標	26年度目標に対する進 捗割合(23年度実績)	
平日昼間の保育サービス					
3 歳 未 満 児	認可保育所(園)	(人)	139	180	77.22%
	保育5サービス	(人)	139	180	77.22%
	うち 家庭的保育事業	(人)	未実施	検討	ニーズに合わせて検討
3 歳 以 上 児	認可保育所(園)	(人)	203	316	64.24%
	保育5サービス	(人)	203	316	64.24%
	保育6サービス うち 認可保育所+家庭的保育 +幼稚園の預かり保育	(人)	687	436	157.57%
全 体	特定保育事業	(人)	—	—	ニーズに合わせて検討
	(か所)	未実施	検討		
夜間帯の保育サービス					
	延長保育事業	(人)	5	6	83.33%
	(か所)	1	2	50.00%	
	夜間保育事業	(人)	—	—	ニーズに合わせて検討
	(か所)	未実施	検討		
	トワイライトステイ事業	(人)	0	8	—
	(か所)	0	1	—	
休日保育事業	(人)	—	—	ニーズに合わせて検討	
	(か所)	未実施	検討		
病児・病後児保育事業	(日数)	—	—	ニーズに合わせて検討	
	(か所)	未実施	検討		
うち 体調不良児対応型	(日数)	—	—	ニーズに合わせて検討	
	(か所)	未実施	未実施		
うち 病児対応児・病後児対応型	(日数)	—	—	ニーズに合わせて検討	
	(か所)	未実施	検討		
一時預かり事業	(日数)	882	1591	55.44%	
	(か所)	5	5	100.00%	
ショートステイ事業	(か所)	0	1	—	
放課後児童健全育成事業	(人)	201	165	121.82%	
	(か所)	7	5	140.00%	
地域子育て支援拠点事業	(か所)	1	3	33.33%	
ファミリー・サポート・センター事業	(か所)	0	1	平成23年度は、子育て サポートクラブとして実施	

宇陀市次世代育成支援後期行動計画 ～平成23年度進捗状況報告

政策目標		推進項目		事業名称	平成23年度の実績・評価	H23 進捗
1	子どもが心身ともに健やかに成長するための支援	①	子どもと母親の健康の確保	1 効率的な母子保健事業の充実 (健康増進課)	健康増進課を中心に各保健センターが連携し、効率よく事業を実施 子育て連携会議など関係課・関係機関と連携した事業を実施	継続
				2 健康づくり推進事業 (健康増進課・保健センター)	健康づくり推進員に対し、健康うだ21計画の妊産婦・乳幼児の取組について周知	継続
				3 母子健康手帳の交付と妊婦指導 妊婦一般健康診査受診票交付 (健康増進課・保健センター)	妊娠届出件数:199件 妊娠12週以降の妊娠届出件数:20件(10%) 妊婦健康診査補助券綴り等交付件数:204件	継続
				4 母親教室 妊婦への個別の保健指導 (健康増進課・保健センター)	・たまごクラス(母親教室) 3クール(1クール3回)実施 参加人数 実19人 延36人 たまひよサロン (妊婦と乳児・保護者の交流) 参加人数 5人 ・個別の保健指導 面接・訪問による被指導者数:216人(実195人)	継続
				5 乳児(新生児)、産婦訪問指導 (保健センター)	乳児家庭全戸訪問事業と併せ実施 全出生を対象とし、助産師会を通じ助産師に委託および保健師による訪問を実施 訪問実施数:乳児 171人 産婦 155人 市外在住・入院・第2子以降の出生などにより対象者のうち7名未実施	継続
				6 乳幼児訪問指導 (保健センター)	主に健診未受診者、健診受診後の要経過観察児を対象に実施しているが、こうしたケースの把握や支援の方法として、所内面接による相談や支援の件数の方が多い 訪問実施件数:実36件 延40件 所内での面接相談や指導件数:実98件 延127件	継続
				7 育児教室 (保健センター)	ひよこクラス(育児教室) 4クール(1クール4回)実施 参加人数 実42人 延114人 4回目は仲間づくりのきっかけの場として、また、妊婦との交流の場として実施 また、4回目を子育て支援センターで実施することで、子育て支援センター事業との有効な連携が可能	継続
				8 乳幼児健康診査 (保健センター)	※別紙	継続
				9 カンガルー教室 (保健センター)	平成23年5月～平成24年2月まで、月1回 年間10回実施 参加人数 実10人 延49人 継続支援が必要なケースについては、こあら教室(療育教室)へ移行して参加してもらい、個別の継続支援を実施	継続
				10 予防接種(保健センター)	※別紙 ・乳児(新生児)・産婦訪問指導時、予防接種の必要性や接種に関する具体的な情報を提供 ・ひよこクラス時、実際に予防接種スケジュールを組み、具体的な予防接種の受け方について学ぶことで、スムーズに接種をすることができる	継続
				11 宇陀市立病院小児科の設置 (市立病院)	宇陀市立病院には小児科を設置しており、事業目的としては達成しているといえる。求められる取組内容『小児医療体制の整備を図り安心できる医療を提供できるよう努めること』という観点から評価するならば、現在の市立病院小児科の医師は非常勤医師であるため、入院患者の受入れが出来ない現状にある	継続
				12 小児・妊産婦医療情報の提供 及び救急医療、情報の提供 (健康増進課・保健センター)	乳児(新生児)・産婦訪問指導時、救急時の診療体制や電話相談窓口に関するリーフレットおよび、救急時の対応に関するパンフレットを配布 ひよこクラス時、救急時の対応について指導	継続

別紙

8 乳幼児健康診査 大宇陀保健センター・室生福祉保健交流センターで実施

		健診回数	対象者数	受診者数	受診率 (%)	未受診者	未受診者中、 未把握者数
乳 児 健 診	4～5か月児 健診	12	181	172	95.0	9	0
	10～11か月児 健診	12	161	152	94.4	9	0
1歳6か月児健診		7	178	163	91.6	15	0
3歳児健診		9	200	179	89.5	21	0
2歳児歯科健診		7	198	178	89.9	20	0

健診未受診者への対応は、次回の健診案内・面接・訪問・電話連絡・予防接種時に面接・幼稚園・保育所連絡を実施。未受診者の中には転出や長期入院・海外在住者もあるが、関係機関などと連携し、把握に努めている。

10 予防接種

種別	接種者数 (延べ人数)	接種方式
ポリオ	285	大宇陀保健センターおよび室生福祉 保健交流センターで実施
BCG	169	
三種混合	682	
MR1期	155	医療機関で接種
MR2期	193	
MR3期	266	市内各中学校で実施
MR4期	283	医療機関で実施
日本脳炎	1426	大宇陀保健センターおよび室生福祉 保健交流センターで実施
		医療機関で実施
ジフテリ ア・破傷風	256	市内各小学校で実施

宇陀市次世代育成支援後期行動計画 ～平成23年度進捗状況報告

政策目標		推進項目		事業名称	平成23年度の実績・評価	H23 進捗
1	子どもが心身ともに健やかに成長するための支援	②	食育の推進	13 食生活改善推進員活動 (保健センター)	健康うだ21計画 食育推進の一環として、子どもの頃から野菜を毎食たべてバランスの良い食生活を身につける事を目的に小学校・保育所等の園児・児童・保護者を対象に調理実習及び講義を実施した	継続
				14 食育の推進 (学校教育課・保育所(園)・幼稚園・小、中学校 給食センター・保健センター)	- 子育て講演会の一環として、食生活改善推進委員を招き親子クッキングを行い、地域の関係機関と連携し、食の大切さや家庭での食事についても見直す機会となった - 保護者に「健康便り」や「食育便り」を通じて食の啓発を図る - 給食指導を通して「食べることの大切さ」を感じさせ、偏食食事マナー等の健全な食育を学ぶ 「食育年間計画」に基づき、各年齢に応じて野菜等の苗や種を植えて育てた。水やりや世話等の様々な体験を通して、命の大切さに気づき、感謝の気持ちを持てるようになった。又、自分達で育てる事により、嫌いだっった物も少しずつ食べられるようになった - 給食試食会では、子どもの給食の様子や量・味付け等を知ってもらう事ができ、食の大切さを理解してもらった機会となった 健康うだ21計画の推進として子どもの頃から野菜を毎食食べてバランスの良い食生活を身につける事を目的として野菜について知ってもらうための教材を作成した。市内小学校等で講義の際に活用中である	継続
		③	次代の親の育成支援	15 異年齢交流・職業体験 (保育所(園)、幼稚園、小・中学校、高校、保健センター)	- 中学生の職場体験や高校生のインターンシップで保育体験を行い、行事等(運動会)にも参加し異年齢交流を図った - 月1回の「なかよし広場」や園の誕生会等で、異年齢で「ふれあい遊び」を実施した。また、幼稚園に慣れていない年少児の日々のお手伝いを年長児が行うことによりお互いに優しさやあこがれを感じ、責任感を養うことができた - 異年齢集団(縦割り班)による活動を実施 - 身近な地域の仕事に目を向け、働くことの意義や仕事のきびしさ、人間関係の在り方などを学んだ - 中学生の職場体験では、普段触れ合う事の少ない中学生と触れ合う事で、いろんな人との関わり方を学び、元気をもらうなど温かさややさしさを感じる事ができた 健康うだ21計画思春期保健部会の一環と併せて、「中学生と乳幼児のふれあい体験事業」を市内3校の中学校を対象に実施 室生中学校3年生 47人、菟田野中学校2年生 38人、大宇陀中学校3年生 56人 ふれあい体験事業実施前に、助産師による事前学習を実施	継続
		④	就学前教育の充実	16 園庭開放 (保育所(園)、幼稚園)	- 幼稚園においては、園により実施についてばらつきがあるが、工夫を行い指定日を設けて開放している - 園庭開放として、未就園児の親子の来園やリズム遊びをして園庭で遊びを実施している - スポーツ教室の利用もあり、親同伴の遊びの場として園庭を開放した バザー(育友会主催)・・・園庭で模擬店やゲームコーナーで遊ぶ 幼稚園に遊びに来ませんか・・・未就園児が親子で園庭遊びをする ※「幼稚園に遊びに来ませんか」は2年目になるため、参加人数が多く地域に浸透してきていることがわかった	継続
				17 保育所(園)、幼稚園と小・中学校の連携 (保育所(園)、幼稚園、小・中学校)	- 年間を通し、幼児が小学校へ、小学生が中学校へ、それぞれの行事に参加し交流を図った - 小学校が22年度から取り組んでいる「共働プロジェクト」を共に考え、挨拶運動等を小学校と徹底して実施した - 小学校と中学校、保育所(園)・幼稚園でそれぞれ教職員が連絡会を持ち、交流を図った - 年長児は、体験入学を実施することで、小学校入学への期待を持たせ、スムーズに入学できた - 児童・生徒の実態について、小中学校で連絡会を持ち、連携を図ってきた。体力テストの支援活動で体育科の教師が小学校に出向き指導を行った - 連絡会(就学予定の小学校)保育参観や授業参観への参加 - 小学校へ就学前に子どもの様子を伝えたり、話合いをもったりして子どもの姿や生活背景を知り、子どもの抱えている課題について共通理解をする事ができた	継続

宇陀市次世代育成支援後期行動計画 ～平成23年度進捗状況報告

政策目標	推進項目	事業名称	平成23年度の実績・評価	H23 進捗
1	④	就学前教育の充実	18 乳幼児教育の振興活動 (保育所(園)、幼稚園)	継続
			・未就園児との交流会を実施し、年間計画をたて、遊びの経験と支援を行い、在園児との交流を通じ、発達の状態や園生活への期待をもつことが出来るよう入園準備を進めることができた ・幼保一体化の園においては、保育所(園)児と幼稚園児が交流し、共に育ちあっている	
	④	就学前教育の充実	19 世代間交流事業 (保育所(園)、幼稚園)	継続
			・地域ボランティアに昔話をしてもらったり、食育に関し地域の食生活改善推進員を招き、クッキング等の指導をもらう。また、お茶会として茶道の礼儀作法をボランティアに教えてもらい、日本文化に親しむ機会を持った ・幼保一体化のため、保育所児と幼稚園児が同じ園内で同じ保育を受けて共に育ち合っている ※幼保一体化のため、保護者の生活環境に左右されることなく、子ども達が安心して同じ園舎で保育を受けることができています	
	⑤	信頼される学校づくり	20 総合学習(小・中学校)	継続
			・小学校(3年生)から中学校において総合的な学習の時間を中心に学習活動を展開した ・主体的・体験的な学習を通して自己のあり方や生き方を考える機会をもった ・地域を再発見したり地域の歴史について学習するとともに体験活動、森林環境学習など地域の特性を活かし、児童生徒の興味関心を引き出すための創意工夫した教育活動に取り組んだ ・福祉体験や職業体験などの自己の生き方を見つめ直すキャリア教育や基礎学力の定着を図る教育内容を展開した	
			21 道徳教育(小・中学校)	
			・道徳の全体計画・年間指導計画に基づいて各学年において取り組んだ ・各教科、領域などとの関連付けをし年間指導計画を作成した ・児童生徒の発達段階に応じた指導や目標が達成できる教材を準備し、話す・聞く・書くを重視しながら生活実態に合わせた学習内容を創造した ・生命尊重の心や自立心、自己責任などの基本的モラル向上や自尊感情を高める取組を展開した	
			22 部活動の支援(中学校)	
			・生徒は部活動に意欲的に取り組み、礼儀やマナー、ルールを守ることの大切さを身につけてきた ・地域との連携や地域の支援を得るとともに、交流活動も行ってきた ・部活動の環境整備等に教職員が組織的に取り組んだ	
			23 小学校、中学校の整備(学校教育課)	
			・大宇陀小学校統合再編事業により、平成22年4月1日に大宇陀小学校は、3校が統合したが、当該小学校は、平成25年4月に再統合に向け、校舎及び体育館の新築工事を着工した。又市内すべての小中学校の耐震2次診断を行った	

宇陀市次世代育成支援後期行動計画 ～平成23年度進捗状況報告

政策目標		推進項目		事業名称	平成23年度の実績・評価	H23 進捗
1	子どもが心身ともに健やかに成長するための支援	⑤	信頼される学校づくり	24 学校評議員制度の活用 (幼稚園、小・中学校)	・「学校評議員会議」や種々の学校行事に4名の評議員が、積極的に参加し、貴重な提言や支援をいただき、この制度を意義の深いものにする事が出来た ・学校での集会活動についての意見を頂き、子ども達の自主性を重視した活動を多く取り入れるように努めていくことができた ・定期的な会議の他、期待と信頼に応える学校づくりを進めるために、臨時の授業参観や懇談会を開催した。児童の心情や保護者への対応、実情をできるだけ確に掴んでいただくことで、学校の取組や体制を理解していただき、民生児童委員など関係機関との連携、保護者との懇談会、臨時の授業参観などへ取組を進めることができた	継続
				25 宇陀市大宇陀小学校再編 (教育総務課、学校教育課)	「大宇陀小学校再編計画」に基づき、最終的に大宇陀小学校は1校とする。残る野依小学校についても、現在取り組んでいる大宇陀小学校の校舎建設工事了後、平成25年4月より大宇陀小学校に統合する。	継続
				26 学校施設の開放(学校教育課、小・中学校)	義務教育施設の一般開放は既の実施している	継続
				27 適応指導教室「はばたき」 (学校教育課)	相談(来室)件数 ・保護者他相談来室(子ども来室付き添い除く) 12件 のべ48回 ・子ども来室 8件 のべ137回	継続
		⑥	障がいのある子どもへの支援	28 特別児童扶養手当(福祉課)	特別児童扶養手当の受給者 92人(平成24年3月31日現在)	継続
				29 障害児福祉手当(福祉課)	障害児福祉手当の実績 受給者数 21名	継続
				30 障害のある子どもに対する自立支援給付事業 (福祉課)	自立支援給付事業 児童ディサービス 平成22年度 7,528,273円 平成23年度 7,948,705円 補装具給付費 平成22年度 3,956,908円 平成23年度 2,878,069円 福祉サービスについては認知度があがっている 補装具に関しては、耐用年数があるので年度により変化がある	継続
				31 障害児保育事業(保育所(園)・幼稚園)	・保育の質の向上の為、職員の各種研修を実施し資質向上を図った ・教育相談を実施したことにより、各保育所(園)・幼稚園と連携し、保護者・子どもの支援につながった ・園内で特別支援教育を計画的に行い、クラスの実態に即した研修や支援を必要とする子どもを中心に援助・支援の指導を行った ・入園後の子どもたちがスムーズに園生活を行えるよう市内関係機関で連携を図った	継続
				32 心理発達相談事業(保健センター)	・相談実施者数:実 18人 延 22人 ・対象者の中には、相談の必要性を受け容れてもらえないケースがある	

宇陀市次世代育成支援後期行動計画 ～平成23年度進捗状況報告

政策目標	推進項目	事業名称	平成23年度の実績・評価	H23 進捗
2	①	子どもの交通安全を確保するための活動推進		
		33 交通安全登校児童指導(総務課)	・春、秋の交通安全運動期間中に各地区の通学路において、児童・生徒の安全確保のために登下校指導を実施	継続
		34 交通安全教室 (保育所(園)、幼稚園、小・中学校)	・春、夏の交通安全週間や学期始めに各校(園)で安全教室を行うと共に、県警より指導員を講師として招き、歩行や着ぐるみ劇を通して安全な歩行等の指導を受けた。PTAの協力も得ることができた ・園内で廊下の歩行時に安全確認の指導と親子指導を毎日実施した ・園外保育時に、現場指導を行い、交通安全の意識を高めることができた ・登下校(園)指導を実施し、子どもと共に保護者へも啓発し、安全意識を高めることができた。また学校においては、低学年を対象とした安全な登下校の指導を行った ・春、秋の交通安全運動の時期に職員とPTAが連携し、交通安全の立哨指導を行い、交通ルールを守り事故なく安全な生活が送れるよう指導をした ・見守りボランティアの方を招いて学習をしたり、夏期・冬期休業の前には校内で指導を行っている	継続
		35 乳幼児用補助装置貸与業務事業 (福祉課)	ヘビーシート貸与数 35件 (平成24年3月31日現在)	継続
		36 交通対策協議会による地域の安全対策の推進 (総務課)	・関係機関等(地域、宇陀警察署、宇陀土木事務所、市教委)と通学路の安全点検の実施 ・危険箇所「スピード落とせ」「とび出し注意」等の注意喚起看板の設置 ・春、秋の交通安全運動期間中園児、児童、生徒への啓発・指導を実施	継続
	②	子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進		
		37 「こども110番の家」旗の設置 (総務課)	市民の協力を得て、「子ども110番の家」旗を更新するとともに現状にあった場所に設置 大宇陀地域 102旗 菟田野地域 70旗 榛原地域 265旗 室生地域 70旗	継続
		38 防犯ブザーの配布(学校教育課)	小学校 212個 中学校 261個	継続
		39 青色防犯パトロール(総務課)	・職員が県警主催の青色防犯パトロール講習を受講し、小学校下校時の時間帯にパトロールを実施 ・総務部、環境対策課、教育総務課、生涯学習課、菟田野地域事務所、室生地域事務所の職員が毎月10日間実施	継続
		40 生活安全推進協議会による地域の安全対策の推進 (総務課、危機管理課)	・青少年の非行防止と健全育成活動の一環として、関係機関が連携し見守り活動等を実施(宇陀地区防犯協議会) ・宇陀市暴力団排除条例において、青少年の加入防止や暴力団犯罪から被害防止のため、市が設置する学校において、教育が行われるよう措置を講ずること及び青少年の育成に携わる者に対して、市が支援等を行うことを規定した	継続
		41 防犯教室 (保育所(園)、幼稚園、小・中学校)	・年間の避難訓練計画の中に、「防犯」を組み入れ、PTAや県警の指導のもと訓練を実施 ・「いかのおすしー人前」の看板を設置し、長期休み前に防犯の話し合いや職員劇を通して子どもたちに意識付けを行った ・年1回、県のサポートセンターにより防犯教室を行い、親子での指導を実施 ・全校生を対象に防犯教室や携帯安全教室を実施した。最新の情勢を専門的立場からの説明を受け、大変有意義であった ・被害防止教室や不審者対応の避難訓練などを実施し、自分の命は自分で守るという意識をもつことの大切さを繰り返し指導した ・警察の方を講師に招き、職員は対処方法や護身術を受講し 子どもは「いかのおすしーにんまえ」について教えてもらう ・親子防犯教室を10月20日に行い、奈良県警より親子で防犯について指導を受ける ※人形劇等を取り入れた内容で、わかりやすくしっかりと聞くことができた。奈良サポートセンターより、職員を招いて防犯教室を行った。自分の事は自分で守る、被害にあわないためのお話し等、簡単な劇を通して知る事ができた	継続

宇陀市次世代育成支援後期行動計画 ～平成23年度進捗状況報告

政策目標		推進項目		事業名称	平成23年度の実績・評価	H23 進捗
2	子ども安全確保	③	青少年健全育成事業の推進	42 喫煙飲酒防止対策の推進 (中学校、保健センター)	・青少年健全育成協議会や育友会、PTA等の協力を得て校外指導等を実施 ・教科指導(保健体育)や学級指導、保健だより等の中で指導を行ってきた。また、生徒指導担当者や養護教諭による指導も実施	継続
					・健康うた21計画思春期保健の推進 喫煙防止 中学生を対象未成年者の喫煙防止リーフレットを作成し、世界禁煙デーに併せ配布 飲酒防止 中学生の保護者を対象に未成年者の飲酒防止のリーフレットを作成し、二学期の三者懇談時に配布	
				43 街頭啓発(生涯学習課)	・青少年健全育成街頭啓発(平成23年11月1日) 11月の全国青少年健全育成月間にあわせ、榛原駅等市内5箇所で標語入りティッシュの配布 ・立入り巡回啓発活動(平成23年11月9日) 奈良県と合同で市内コンビニ・書店・雑誌自動販売機等立入り啓発	継続
				44 啓発標語募集(生涯学習課)	・中高生を対象に標語を募集 平成23年度最優秀作品 「手をつなぎ みんなの絆 つなげよう」 「思いやり あの子の心へ 届けよう」	継続
				45 講演会の実施(生涯学習課)	子どもたちがいじめ、痴漢、虐待、誘拐、性暴力といった様々な暴力から自分を自分で守るための力を身につけるためCAP事業の実施 野依小学校・菟田野小学校・榛原西小学校・室生西小学校 4校で実施	継続
				46 絵本の読み聞かせ事業(図書館・児童館)	・ブックスタート 計11回(BCG予防接種時6回、母親教室1回、育児教室4回:職員 ボランティア) ・すくすくひろばお話し会 月2回(中央図書館:ボランティア) 市民になって間もない保護者に図書館を周知し、絵本の活用とおはなし会の参加を促すことができた	継続
3	子どもの人権の尊重と権利擁護の推進	①	人権教育の推進	47 小中学校での人権教育の推進 (学校教育課・小・中学校)	・人権標語を校内掲示するなど、教育環境から生徒の人権意識を高めてきた ・人権を確かめ合う日や人権集会やなかま集会等を通し人権問題についての学習を深めている ・様々な人権についての個別の課題について学習している ・放課後子ども教室の取組により、人権学習に取組み、校内の人権集会の中心となって活動した ・宇陀市の指定研究を人権教育をテーマとして受け、年間3回の校内研究授業を行うなど、人権教育の再点検を行った ・教職員の資質向上を目指し、職員研修や関係機関の研修に積極的に参加するとともに、地域行事(人権フェスティバル)にも児童とともに参加した	継続

宇陀市次世代育成支援後期行動計画 ～平成23年度進捗状況報告

政策目標		推進項目		事業名称	平成23年度の実績・評価	H23 進捗	
3	子どもの人権の尊重と権利擁護の推進	①	人権教育の推進	48	保育所(園)・幼稚園での人権教育 (学校教育課・保育所(園)・幼稚園)	・人権教育の年齢別年間指導計画を作成し、様々な人と親しみ、「人とかわる力」をつけると共に、コミュニケーションがつくような遊びや活動、ゲーム等を年齢に応じて取り入れる保育・教育を行っている ・「自分も友達も大切にしよう」という人権感覚を日々の保育に努めた ・日々の生活習慣の見直しや家庭への働きかけを行い、保護者と共に考え、子どもを常に中心に据えたきめ細かな保育を心がけ、家庭との連携を深めた ・解放保育の実践会に加入し、乳児からの保育について研修した。。また自然や動植物に触れたり、育てたりすることにより、豊かな感性を養い、命を大切にする保育を進めることができた ・人権推進教員を中心に個々互いに違いがあることに気づかせ、人に対して思いやりのある心をもてるよう指導した	継続
				49	こども人権(地域ふれあい活動体験)事業 (人権推進課)	大宇陀地域 活動日数 30日 参加人数 のべ927人 菟田野地域 活動日数 101日 参加人数 のべ1208人 榛原地域 活動日数 103日 参加人数 のべ2037人 室生地域 活動日数 39日 参加人数 のべ568人 地域の人々に様々なことを学びまた、交流をしたことにより地域との繋がりが・絆の大切さを感じることができた	継続
		②	児童虐待防止対策の充実	50	要保護児童対策地域協議会(福祉課)	宇陀市要保護児童対策地域協議会 代表者会議 1回開催(平成23年6月28日) 実務者会議 3回開催(平成23年7月14日・11月10日・平成24年3月8日) ケース会議 11回開催(随時)	継続
				51	虐待の早期発見と予防、対応 (福祉課、保健センター、学校教育課、保育所(園)、幼稚園、小・中学校)	・日常の子どもの様子を細かく観察し、親が安定して育児に取り組んでいるか、悩みはないか探り、何でも相談できる人間関係を築くと共に支援できる体制を図った ・市内関係機関と常に連携を図り、早期発見・予防に努めた ・教育センター事業での教職員研修を実施した ・園での子どもの様子を観察すると共に、他の関係機関と常に連携を行い、早期発見に努める ・身体測定(毎月)の機会等を利用して、一人一人の子どもの身体の状態を観察する。また、日々の視診の中で些細な変化も見逃さず虐待の早期発見に努めた ・ケース会議にかかった子どもについては、児童相談連絡書に記入して、毎月報告している ・虐待の早期発見に関しては、身体測定時や午睡時の着替え時等で子どもの身体に変化はないか気をつけている 児童虐待防止に向けた啓発活動の充実として、広報うだ・子育て情報誌「すくすく」への掲載 ・児童虐待の情報を市広報誌に掲載し各家庭へ周知する、また子育て情報誌「すくすく」にも掲載。(今年度は全戸配布)また、保健センター・子育て支援センター等で保護者に配布する 虐待の対応 ・安全確認や保護者への支援など各機関と連携し、役割分担が決まれば支援や援助を行なう 妊娠届出時より、妊娠・出産・育児に関する相談を実施し、ハイリスク者に対する継続支援を実施 県の親支援プロジェクトのモデル事業として、虐待予防の視点を強化したたまごクラスの実施 乳児(新生児)・産婦訪問指導を全出生児対象に実施 乳幼児健診未受診者の状況把握の実施 事業を通じ把握された要保護児童家庭や支援が必要な家庭について関係機関と連携	継続

宇陀市次世代育成支援後期行動計画 ～平成23年度進捗状況報告

政策目標		推進項目		事業名称	平成23年度の実績・評価	H23 進捗
3	子どもの権利擁護の推進	②	児童虐待防止対策の充実	52 個別事例検討会議(ケース会議) (福祉課)	・通告を受けたら直ちに子どもの安全を確認すると同時に、緊急受理会議を開催し、各関係機関に子どもと保護者に対する情報収集や最も効果的な援助を検討する ・平成23年度ケース会議 11回 ・ケース会議以外に4ヶ月に1回定期的な状況報告を行なう実務者会議(進行管理会議)を開催	継続
4	子育てを支援する生活環境づくり	①	すべての子育て家庭への支援	53 地域子育て支援拠点事業 (学校教育課、保育所(園))	宇陀市として子育て支援サービスの一本化が整備され、子育て支援センター「すくすく」として初年度を迎えた 子育て支援センター開放・親子教室・地域の保育所、公共施設に出向いての保育・子育て相談・子育て講演会の実施(年3回)など、子育て中の親子に遊びや交流の場を提供し、つながりを広げ深めることができた また、子育てサークルへの活動支援(5団体)年47回、子育てボランティア(19名)の育成も行った 平成23年度 子育て支援センター事業参加延べ人数 子ども(4576名)大人(3719名)合計(8295名)	継続
				54 子育てサポートクラブ(福祉課)	安心して子どもを産み育てることができる環境実現と子育て中のお母さん達を応援するサポートクラブの活動 ・平成23年度 子育てサポーター運営会議 4回 ・平成23年度 リビングルーム(サポートクラブの普及および啓発)4回 ・平成23年度 子育てサポーター養成講座 7回 ・平成23年度 子育てサポートクラブ個別活動 59回(動員44名)	継続
				55 子ども手当(福祉課)	子ども手当の受給者 1,762人(平成24年3月31日現在)	継続
				56 子ども医療費助成制度 (保険年金課)	子どもの健康の保持、子育てしやすい環境づくりを目指して、通院医療費については小学校入学前の乳幼児を対象に自己負担額の一部を助成し、入院医療費については中学校卒業時までの子どもを対象に保険診療分の自己負担額の全額の助成を行った 助成件数・金額 12,966件 2,326万円	継続
				57 国民健康保険出産育児一時金 (保険年金課)	国民健康保険被保険者の出産に際し、子ども1人あたり42万円(産科医療補償制度未加入分娩機関での出産の場合は、39万円)を支給 平成23年度の支給実績・・・35件 1,467万円	継続
				58 宇陀市立幼稚園保育料減免 (学校教育課)	・宇陀市立幼稚園の園児の保護者に対して保育料の支払いの経済的負担が大きい階層を対象に、保育料の減免措置を行った ・10名 400,000円	継続
				59 就学援助(学校教育課)	小学校 121名 7,186千円 中学校 100名 8,904千円	継続
				60 宇陀市ぬくもり修学奨励金 (学校教育課)	高等学校 12名 720,000円 専門学校 1名 120,000円 大学校 2名 240,000円	継続
				61 出産祝い事業(福祉課)	出産祝い品贈呈数 163件(平成24年3月31日現在)	継続
5	子育てと仕事との両立の支援	①	多様な保育サービスの充実	62 保育所(園)の整備(学校教育課)	増加する榛原地域の保育所ニーズに対応すべく、民間保育所の誘致等も含め検討を行った	継続
				63 通常保育事業 (学校教育課、保育所(園))	・早朝保育、長時間保育を実施し、働きやすい環境作りをする ・途中入園児に対してその都度受け入れることができた。保育士の対応もできた ・保護者との連携をできるだけ密にすることで、子育ての悩みや発達相談を受けることができ、各関係機関とも連携をとることができた。	継続

宇陀市次世代育成支援後期行動計画 ～平成23年度進捗状況報告

政策目標		推進項目		事業名称		平成23年度の実績・評価	H23 進捗
5	子育てと仕事との両立の支援	①	多様な保育サービスの充実	64	一時預かり保育事業 (学校教育課・保育所 (園))	・緊急な理由での利用や、保護者のリフレッシュ、育児負担軽減のための利用等が多く、利用が増えている。保護者の必要性にほとんどの場合応じることができていた ・低年齢の子どもでアレルギーのため除去食が必要な子どもが増えている	継続
				65	延長保育事業 (学校教育課・保育所 (園))	早朝保育・・・午前7時00分～8時30分 延長保育・・・午後4時30分～7時30分 保護者の就労時間に応じて個々に対応しているが、低年齢児の長時間保育が多くなっている 保育時間が長くなることで、低年齢児にとっては健康上負担になって体調を崩す子どもも見られる	継続
				66	預かり保育事業 (学校教育課・幼稚園)	保護者が安心してリフレッシュできるよう預かり保育を実施している ・平成23年度利用件数 大宇陀幼稚園 1,385件 榛原幼稚園925件 榛原東幼稚園1,946件 榛原西幼稚園817件 室生幼稚園519件 合計5,592件	継続
				67	子育て短期支援事業(トワイライトステイ)(福祉課)	平成23年度 該当ケースなし	継続
				68	子育て短期支援事業(ショートステイ)(福祉課)	平成23年度 該当ケースなし	継続
				69	放課後児童健全育成事業(学童保育) (人権推進課、児童館、学校教育課)	・榛原地域において、榛原小学校学童保育室は、1年～3年生延べ537人、榛原東小学校学童保育室は1年生～5年生延べ478名の受入を行った ・榛原小学校及び榛原東小学校の保育室床の改修及び備品整備を実施した ・放課後の時間帯及び長期学校休業中において、保護者の代わりに家庭的機能を補いながら「生活」の場を提供し「遊び」や「生活」を通して子どもの健全育成を図っていく	継続
		②	ひとり親家庭に対する自立支援の推進	70	児童扶養手当(福祉課)	児童扶養手当の受給者 母子 202人、父子 16人 (平成24年3月31日現在)	継続
				71	ひとり親家庭等医療費助成制度 (保険年金課)	従来の母子家庭に対する入外医療の助成に加え、平成23年10月からは助成の範囲を父子家庭にも拡大することで、ひとり親家庭等の親子等の健康保持増進を図り、もってひとり親家庭の生活の安定と福祉の向上に寄与した 助成件数・金額 5,455件 1,435万円	継続
		③	男女共同子育ての推進	72	男女共同参画社会の必要性の啓発 (人権推進課)	広報うた掲載 2回 集会の開催 1回 集会では、創作劇と講演を実施。参加者は講師自らが経験されたことを聞くことにより、より一層男女共同参画を身近に感じてもらうことができた	継続
				73	男女共同参画による子育ての促進 (健康増進課・保健センター)	・たまごクラス時、妊婦の配偶者を対象に教室を土曜日に実施 ・グループワークなどで配偶者の協力について啓発 配偶者の参加者数:12人	継続
6	地域における子育ての支援	①	ネット子育て支援のづくり	74	子育てサークル活動育成支援事業 (学校教育課・保育所 (園))・子育て支援センター)	・現在、市内子育てサークルは、5団体 ・主な活動場所は、子育て支援センターや大宇陀幼児園、公共施設を利用 ・サークル代表者会議を年度当初行い、年間計画を話し合った。年度末には、反省と意見交流をした ・募集ポスターやサークル活動の写真を掲示することで、周知を図り、参加者を増やした ・親子同士、校区外の人とも交流ができた。自主的な活動を支援することで、子育てを楽しむ姿が多く見られた	継続
				75	子育て情報の提供(福祉課)	子育て情報誌「すくすく」を全戸配布。また、子育て情報誌別冊として、「保育所・幼稚園編」「子育て支援センター編」「改正児童手当編」を作成し、より詳細に有効利用できる情報を提供	継続

宇陀市次世代育成支援後期行動計画 ～平成23年度進捗状況報告

政策目標	推進項目	事業名称	平成23年度の実績・評価	H23 進捗
6 地域における子育ての支援	② 子どもの多様な体験活動の機会の充実	76 文化芸術活動体験交流(企画課)	・廃校となった小学校を活用した文化芸術活動体験交流施設として、「ふるさと元気村」があり、芸術家の作品とふれあえたり、世代や地域を越えた交流の場となっている。体験学習として、年間を通した教室事業やホテル鑑賞など自然の保全や季節の体感ツアーなどを行っている。 教室事業 18教室(月1～2回) イベント事業 年4回	継続
		77 こどもフェスタ(生涯学習課)	宇陀子どもフェスタ2011(平成23年9月11日) 紙ひこうき大会、チャレンジランニング、クラフト、大声コンテスト、タイムトンネル・昔あそび、人形劇、 ジュースの釣堀、水てっぼう等 約1,300人参加	継続
		78 市スポーツ少年団(生涯学習課)	7単位団(野球・バドミントン・バスケットボール・バレーボール・少林寺拳法)各種目による親善大会の開催	継続
		79 ジュニアリーダー養成(生涯学習課)	子ども会活動が衰退している中、市が主催する宿泊体験活動を通して、自主性・協調性を養い、ジュニアリーダーの養成を図ることを目標としている	着手
		80 子ども会連合会(生涯学習課)	・子どもフェスタ参画(平成23年9月11日) ・手作り体験学習会(平成23年10月2日)	継続
	③ 子どもの居場所づくり	81 児童館活動(人権推進課・児童館)	・小中学生を対象とし、遊びや学習を通して仲間意識の高揚と人権問題に対する取り組み ・小学生は毎日、自由来館で子どもの居場所を提供 ・中学生は週に1回、人権に関する学習や演劇活動を通して、宇陀市平和と人権を考える集いで人権劇の発表 ・地域組織活動:年6回 学童保育を守る保護者会、会議及び行事	継続
		82 地域放課後子ども教室推進事業(人権推進課・生涯学習課)	放課後の時間帯において、保護者の代わりに家庭的機能を補いながら「生活」の場を提供し、「遊び」や「生活」を通して子どもの健全育成を図っていく 菟田野児童クラブ 253日 室生北児童館 250日 室生東児童館 250日 室生西児童館 250日 地域組織活動育成会 250日 ・7小学校区5教室実施 活動場所 児童館・公民館・図書館・大和富士ホール等 活動状況 各教室とも年間40回開催 参加状況 延べ2,790人 活動内容 学習指導・集団遊び・工作・和太鼓・パン作り・お話し・交流会・料理教室等	継続